

# 歴文クラブ 28年4月研修会

(実施日：平成28年4月26日(火))

## 資 料

### 1、研修会実施要領

### 2、資料

- ・「近江路 湖西の道」(渡来人の足跡を尋ねて)
- ・近江湖西の道 案内地図

### 3、出席者名簿

奈良・人と自然の会  
歴史文化クラブ

担当世話人：川井秀夫・杉本登

(事務局・連絡先 古川祐司)  
(Tel.0742-44-8621、090-4298-2344)

## 1、実施要領

- ①日時：4月26日（火）8：15集合（時間厳守）
- ②場所：大和西大寺駅南口  
（生駒交通マイクロバスが待機）
- ③昼食：坂本「本家鶴喜そば」（各種メニューあり）
- ④雨天：雨天でも実施します  
（昼食が遅くなりますので、間食等適宜ご持参ください）

### 《行程》

近鉄西大寺駅（8：30）出発



三井寺着（10：00～11：00）ボランティアガイドの案内  
（入館料600円）



新羅善神堂（しんらぜんしんどう）（11：10～11：20）



大津市歴史博物館（11：00～12：00）学芸員の大津京の解説  
（入館料250円）



（以下は時間の関係で場合によっては割愛）

新羅三郎義光の墓（しんらさぶろうよしみつのはか）  
フェノロサの墓



坂本の「本家鶴喜そば本店」で昼食（13：00～13：45）  
（メニュー：別紙）



小野地区（14：30～15：30）

小野神社

小野篁（おののたかむら）神社

小野道風（おののとうふう）神社

小野妹子（おののいもこ）神社

帰途（15：30～）



西大寺着（17：00）の予定

## 「近江路 湖西の道」(渡来人の足跡を尋ねて)

### 《初めに》

古代、日本歴史の中で記録される渡来人の大集団は、新羅の王子と言われる天日槍(アメノヒボコ)の率いるそれである。彼らは裏日本伝いに若狭湾に上陸し、さまざまな痕跡を後世に遺しつつ南下した。古代日本の最大の事件の一つである。

ただ、近江には一部が定住しただけで総帥の天日槍は残念ながら但馬に行ってしまう。近江人はアイヌ人の強烈な血も、南方種族の混合的血液も少なく、琵琶湖湖畔に於いては朝鮮半島から持ち込まれた血が純度高く残り、骨相学的にも滋賀県を含めた近畿にその特徴が顕在すると言う。

ともあれ、近江路は日本のスクランブル交差点の様に古来から政治的・軍事的・文化的な要衝として歴史がものを語る。天皇家の遷都・壬申の乱・応仁の乱・源平の相克。戦国の群雄割拠と興亡など、また、宗教文化・交易物流の一大動脈の拠点としても、寺社仏閣を始め文化的遺産が多い。

### 近江八景

宋の時代。中国文化の影響を受け、湖南省 洞庭湖付近の瀟湘八景を手本とする。

- 石山の秋月 : 岩山に立つ石山寺の伽藍と満月。
- 瀬田の夕照 : 「唐橋を制する者は天下を取る」戦乱の舞台。
- 粟津の晴嵐 : 強風に払われ春の松並木が鮮やか。
- 矢橋の帰帆 : 矢橋は大津への渡しの発着場。帰港する帆船の群れ。
- 三井の晩鐘 : 日本三名鐘。大友皇子の子、与多王の創建と伝承される。
- 唐崎の夜雨 : 穢れの禊の水辺。雨に煙る荘厳な姿が印象的。
- 堅田の落雁 : 浮見堂に雁が列をなして優雅に舞い降りる。
- 比良の暮雪 : 春になっても雪が残る比良連山。桜より美しい。

### 名所・旧跡

城郭・・坂本城・大津城・膳所城・瀬田城・田上城石山城・堅田城  
雄琴城・宇佐山城・壺笠山城

寺社・・日吉大社・近江神宮・建部大社・三井寺・石山寺・西教寺・義仲寺

## 《解説》その1

### (1) 三井寺（天台寺門宗総本山園城寺）



三井寺は壬申の乱で敗死した弘文天皇の皇子与多王が田園城邑（おんじょうじむら）を寄進して建立された。

天武天皇より園城の勅学を賜り長等山園城寺と称した。その後、比叡山の智証大師（円珍）が貞観8年（866年）に再建した。その時、新羅善神堂も造営された。

#### 智証大師（円珍）

弘仁5年（814年）讃岐国金蔵郷（現四国霊場76番札所金蔵寺）に生まれる。豪族佐伯氏の出で弘法大師空海の姪の子にあたる。比叡山延暦寺で修業し学頭となる。853年入唐し天台の伝法灌頂を受ける。

その後、帰国し868年第5代天台座主となる。朝廷より園城寺を賜り、天台別院にした。入唐時に船が難破しそうになり、大師が船上で祈ったところ、新羅明神が現れ無事航海ができた。それゆえ帰国後、園城寺に新羅明神を祭る新羅善神堂を建てた。

### (2) 新羅善神堂（しんらぜんしんどう）

社殿は檜皮葺三間社流造、南北朝時代の建造で国宝である。お堂に納められている木造新羅明神像も国宝である。三井寺の北のはずれ「新羅の森」と呼ばれる地域にある。新羅明神は源氏とも縁が深い。源頼義の子義光が新羅善神堂で元服式をあげて新羅三郎義光と名乗った。甲斐源氏の祖である。三井寺や新羅善神堂はその後、平氏や楠正成の焼き討ちにより何回となく炎上するが、源氏所縁の寺院のため源頼朝や足利尊氏らにより再建された。

### (3) 新羅三郎義光（しんらさぶろうよしみつ）の墓

河内源氏源頼義の子で八幡太郎義家の弟、新羅善神堂で元服した。その後も、新羅明神に深く帰依しゆかりが深い。甲斐源氏の祖となった。

### (4) フェノロサの墓

米国人の東洋美術史家、哲学者で明治時代に来日したお雇い外国人。岡倉天心と共に日本美術を評価し世界に紹介した。仏教に帰依し三井寺で受戒した。その縁で三井寺の塔頭法明院に墓がある。



### (5) 鶴喜そば (坂本日吉大社前) TEL077-578-0002

享保元年 (1716年) に鶴屋喜八がこの地で創業し、以来300年の歴史があり、かつて宮内庁にも納入していた。老舗の有名なお店でそばもうまい。

「そばは一番、電話は二番、店は角から三軒目」

### (6) 小野地区

日本書紀に大和和邇氏の祖であるとの記載がある。諸国に多い小野の地名、氏族の発祥の地であり祖神を祭る。・・・・・・・・小野神社由来書による

#### ①小野神社 (餅、菓子作りの神様)

祭神は第5代孝昭天皇の第一皇子天足彦国押人命 (あまたらしひこくにおしひとのみこと) と小野妹子の先祖に当たる、米餅搗大使主命 (たがねつきおおおみのみこと) である。応神天皇のころ日本で初めて餅つきをしたと伝えられている。菓子づくりの神様として菓子業者から広く信仰を集めている。

#### ②小野篁神社 (おののたかむら神社) (学問・使節の神様)



平安前期の漢学者、歌人  
百人一首に

「わたのはら 八十島かけて こぎいでぬと  
人には告げよ あまのつりぶね」  
の歌で有名。

有名な「わたのはら・・・の歌碑

#### ③小野小町の塚

絶世の美人であり、後世美人の代名詞にまでなった歌人、在原業平や文屋康秀らと浮名を流した。百人一首に

「花の色は 移りにけりな いたづらに わが身世にふる ながめせし間に」  
の有名な歌がある。

#### ④小野道風神社 (おののとうふうじんじゃ) (書道・学問の神様)

平安時代の書家小野道風がまつられている。切妻造平入の本殿は非常に珍しい。室町時代に建立された。小野道風といえば花札の柳に飛びつく蛙を連想する人も多

い、何度も飛びつく蛙をみて書の道に精進しようと言われている。

### ⑤唐臼山古墳（小野妹子神社）（外交・華道の神様）

我が国初の遣隋使として知られる小野妹子の墓として伝わる古墳。  
妹子の墓は太子町の推古天皇陵の近くにもあり、生け花家元の池坊が管理している。  
妹子が生け花の祖として祭られている。

## 《解説》その2

### 1、天智天皇について

#### （天智天皇略年表）

- 645年 乙巳の変（大化の改新）
- 663年 白村江の戦
- 667年 近江京遷都
- 668年 近江令制定
- 670年 庚午年籍作成
- 672年 壬申の乱

推古34年（626年）～天智10年（672年）諱（実名）は葛城皇子。即位前は中大兄皇子と呼ばれていた。父は舒明天皇、母は宝皇女（皇極天皇）である。大兄とは同母の兄弟中の長男で皇位継承者という意味で、中大兄とは二番目の皇位継承者という意味であった。同母の弟が大海人皇子、後の天武天皇である。兄弟とはいえ性格はかなり異なっており、中大兄は決断力に富み非情、冷酷な権力者のイメージである。

これに比べ大海人は心が広く、寛大な人格者といったイメージが出来上がっている。これは中大兄が有力な皇位継承者を殺害し、皇位についたことによる。

#### ①古人大兄皇子

中大兄の異母兄で蘇我氏の推す有力な皇位継承者であったが、入鹿の暗殺後、謀反の疑いをかけられ中大兄に殺された。

#### ②有馬皇子

第36代孝徳天皇の皇子で中大兄に謀反の疑いをかけられ殺された。

#### ③大海人皇子

皇太弟であったが、天智天皇は実子大友皇子に位を譲りたく思っていることを察して出家して吉野へ逃げた。

壬申の乱の後、天武天皇は天智の皇子を処罰することなく朝廷に迎えて遇した。

また、自身の皇子と共に助け合うことを誓わせた。(6皇子の誓) このように天武は寛容であった。

## 2、中大兄はなぜ即位が遅れたか

### ①通説

乙巳の変(645年)の時の中大兄は19歳と若く、皇位を皇族の長老孝徳に譲り皇太子として実権を握った。中大兄は孝徳天皇と対立して、難波宮から明日香に戻った。

その後、孝徳が憤死して宝皇女が重祚して斉明天皇となった。この時点で皇太子が即位するのが普通だが中大兄は即位せず、母の宝皇女が重祚した。極めて不自然である。斉明崩御の後もすぐには即位せず、称制として皇太子のまま政務をとった。

これは白村江の戦いで倭国が大敗し、唐・新羅の連合軍が倭国に攻め寄せる恐れが出てきて、即位せずに都をより安全な近江に遷したのである。

### ②異説

孝徳天皇の皇后間人皇女は中大兄の同母の妹であったが中大兄とは以前から愛人関係にあった。古代は近親間の恋愛も認められており、異母兄弟間で結婚することも珍しくなかった。しかし、唯一のタブーは同母の兄弟間の結婚である。中大兄と間人との関係は群臣にも知られており非難されていた。そのため中大兄は即位できなかったというのである。中大兄が孝徳と対立して難波から明日香に去った時、間人皇后も共に明日香に去った。間人皇女は斉明崩御後の665年に亡くなった。それから中大兄は第38代天智天皇として即位する。

## 3、中大兄はなぜ近江に遷都したのか

### ①通説

国際情勢の緊迫によるもの

663年白村江の戦いで倭国・百済連合軍が大敗した後、百済の王族や貴族、一般の民が多数亡命してきた。北九州の那の津(博多)には唐の軍船が停泊し、一触即発の状況であった。唐・新羅の連合軍の侵攻を恐れた中大兄は都を明日香からより遠い近江に遷すことを考えた。しかし、群臣はこぞって反対し遷都は難航した。結局中大兄が強引に押し切り近江に遷都した。

### ②異説

近江は以前から秦氏や和邇氏など朝鮮半島からの渡来人が多く住んでおり、中大兄とは良好な関係にあった。大和の豪族には中大兄に従わぬ者もあり、必ずしも中大兄の権力構造は盤石ではなかった。そこで、人心を一新し自らの権力基盤を確立するため、支持者の多い近江に遷都した。

#### 4、天智天皇（中大兄皇子）の業績

乙巳の変・・・・・・・・衰えていた皇室の権威を蘇我氏から取り戻した

庚午年籍・・・・・・・・日本最初の戸籍

近江令・・・・・・・・律令国家の完成を目指し、近江令を制定

学校・・・・・・・・日本最初の学校を作った

漏刻・・・・・・・・日本最初の漏刻（水時計）を作り時を測った



# 湖西の歴史探訪 地図



## 歴文クラブ(4/26)研修会 参加者名簿

(敬称略 アイウエオ順)

整理 番号	氏 名	出席確認欄	備考
No. 1	青木 幸子		
No. 2	青木 芳一		
No. 3	池田 敬二郎		
No. 4	池田 富子		
No. 5	池田 信明		
No. 6	上西 千代子		
No. 7	内河 洋文		
No. 8	川口 達夫		
No. 9	小山 喜与男	現地で合流	
No. 10	塩本 勝也		
No. 11	下村 晴文		
No. 12	鈴木 末一		
No. 13	田矢 恵三		
No. 14	寺田 孝		
No. 15	富井 忠雄		
No. 16	永井 幸次		
No. 17	中川 徹		
No. 18	西谷 範子		
No. 19	羽尻 嵩		
No. 20	坂東 久平		
No. 21	八木 純一		
No. 22	山本 妙子		
No. 23	弓場 厚次		
No. 24	吉川 利文		
No. 25	杉本 登	担当世話人	
No. 26	川井 秀夫	担当世話人(歴文クラブ代表)	
No. 27	古川 祐司	(歴文クラブ事務局)	

## 鶴喜そば 昼食メニュー



**そば定食(温)** 1,040円(税込)

かけそば、かやく飯、香の物



**天ぷら定食** 2,760円(税込)

ざるそば、天ぷら盛合せ、赤だし、白飯、香の物



**ぶっかけ定食(冷)** 1,100円(税込)

ぶっかけそば、かやく飯、香の物



**野菜天ぷら定食** 2,420円(税込)

ざるそば、野菜天ぷら盛合せ、赤だし、白飯、香の物

**(うどんに変更 100円引き)**

鶴喜そば メニュー	
《冷たい蕎麦》	
ざるそば	950円(税込)
ざる大盛	1,170円(税込)
ざる小盛り	500円(税込)
とろろそば(冷・温)	1,250円(税込)
おろしそば(冷・温)	1,050円(税込)
なめこそば(冷・温)	1,050円(税込)
割子そば	1,100円(税込)
えび天おろしそば	1,150円(税込)
野菜天ざるそば	1,490円(税込)
天ざるそば	1,760円(税込)
ぶっかけ定食(冷ぶっかけそば、かやく飯、香の物)	1,100円(税込)
野菜天ぷら定食	2,420円(税込)
天ぷら定	2,760円(税込)
《暖かい蕎麦》	
かけそば	730円(税込)
かけそば小盛り	380円(税込)
月見そば	800円(税込)
玉子とじそば	800円(税込)
きつねそば(きざみあげ)	800円(税込)
鳥なんばんそば	880円(税込)
ゆばそば(夏季を除く)	930円(税込)
にしんそば	1,030円(税込)
釜揚げそば ※卵黄使用	1,030円(税込)
天なんそば(えび天一尾)	1,030円(税込)
野菜天ぷらそば	1,100円(税込)
天ぷらそば(えび天二尾)	1,320円(税込)
鴨なんばんそば	1,440円(税込)
そば定食(かけそば、かやく飯、香の物)	1,040円(税込)